

# Bibliophiles

## ビブリアファイルズ No.10(2020年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館

(ここで紹介するのは新しい本の一部です。)



### 『呪術廻戦』

芥見 下々

このマンガは累計発行部数が 2 千万部を突破し、金曜の深夜ですが TV アニメも始まっています。すでに「鬼滅の刃のような社会現象になるのでは?」という期待の声まで寄せられている、話題作です。

モンスターたちとのバトルを描くファンタジー、と言うとまさに「鬼滅」にも近い内容ですが、こちらの敵は「鬼」ではなくて人間の負の感情が生み出す「呪霊」。それを迎え撃つのは、「呪術師」たちです。主人公の虎杖悠仁(いたどり ゆうじ)はひよんなことから呪いの込められた「呪物」を食べてしまい、呪術師たちに捕まっています。死刑を宣告された虎杖ですが、ある呪術師が提案したのは・・・

### 『野良犬の値段』

百田尚樹

人気作家の百田氏は何度も「引退宣言」をし、2019 年にも「書くものはあらかた書いた。悔いはない。」という意味のことを言って引退したはずですが、またまたやってくれました! 去年の年末に新作の長編小説、それも氏にとって初のミステリーを世に問うたのです。

ネット上にいきなり「誘拐サイト」が立ち上がります。「私たちが誘拐したのは以下の人物です。」という謎の文言と共に、6 人のホームレスとおぼしきみずぼらしい身なりの男たちの写真が掲載されていました。誘拐犯は、ある驚くべき相手に身代金を要求するのですが・・・衝撃の結末にご期待を!

### ◇ミステリー・SF の古典的名作や注目作を買いました!! ◇

まずは「純文学作家」三島由紀夫による異色作『命売ります』。自殺に失敗した主人公は、これからは自由に生きようと新聞の求職欄に「命売ります。お好きな目的にお使い下さい。」という広告を出します。すると・・・ミステリーにホラーの要素までも盛り込んだ、三島の中でも最近人気の一作です。ミステリーではクロフツの古典的名作『樽』と『クロイドン 12 時 30 分』を。『樽』は犯人の「アリバイ崩し」ものの名作として、『クロイドン』は「三大倒叙ミステリー」の一作として有名ですね。あ、「倒叙ミステリー」とは初めの方で犯人が分かっちゃってる推理小説のことで(倒叙って「逆に書く」こと)、「刑事コロンボ」とかテレビの「古畑任三郎シリーズ」なんか有名ですが。ほかにも注目作を買いましたので、是非図書館まで!!

### 歌集『滑走路』

萩原慎一郎

「抑圧されたままでいるなよ  
ぼくたちは三十一文字で鳥になるのだ」

短歌の歌集はほとんどが「自費出版」で発行部数は 100 部程度が多いのですが、この歌集は角川から刊行されて 3 万部以上という異例のヒットとなっています。三十二歳で自死を遂げた作者の、切実な魂の叫びにどうか耳を傾けてみて下さい。なお、この本を元にした映画『滑走路』も昨年末に上映されました。

### ☆2020 年のノーベル賞に関連した本のご紹介です☆

#### 『ゲノム編集とはなにか』

山本卓

昨年の「化学賞」を受賞したのは、ゲノム編集に関する二人の女性研究者でした。ゲノム編集は遺伝情報を書き換える技術ですが、人間だけでなく他の生物にも使えますので、例えば食糧問題を解決する技術にもなり得ます。またイモリは癌にならないゲノムを持っていますが、これを人間に応用すれば癌の予防になるかも知れませんね。



#### 『宇宙飛行士選抜試験 ファイナリストの消えない記憶』 内山 崇

2008 年に JAXA は 10 年ぶりに宇宙飛行士の募集をしましたが、3 名の定員に対して応募者は 963 名。作者はファイナリストの 10 名まで残りましたが、残念ながら最終選考で不合格となってしまいます。本書は作者の宇宙飛行士への挑戦と失敗、挫折、そして失敗を活かして新型宇宙船開発に携わる現在までを、時に熱く、時に赤裸々に描いています。ご一読を。

#### 『戦国日本と大航海時代 - 秀吉・家康・政宗の外交戦略』 平川 新

わが国は、アジアの中にあって西欧諸国の植民地とならなかった例外的な国です。あの大国の中国でさえ部分的に植民地となったのに、日本はなぜ強国の支配を免れたのでしょうか? 実は、徳川家康はスペインでは「皇帝 Emperador」と呼ばれ、日本は「帝国」と認められていたのです。果たしてそのわけは?

#### 『The Wild Iris (野のアヤメ)』

ルイーゼ・グリュック

文学賞の方は、日本ではまだほとんど翻訳がない米国の女性詩人のグリュックでした。代表作の詩集に当たるこの本もまだ翻訳されてませんので、原書に挑戦してみませんか? 単語自体は中学レベルくらいの平易な英語ですし、短い詩ばかりですので、挑戦しがいはあります!

### 今号のひとこと

以、和為、貴。 和を以て貴しと為す。

聖徳太子(厩戸皇子)(574-622)

有名な「十七条憲法」の冒頭部分で、『日本書紀』に記されています。誰もが知ってる言葉ですが、表記が漢文なのが意外かも知れませんね。「古事記とか日本書紀って、日本人による日本の歴史書だから当然、日本語だよな。」って思ってる人がいるかもですが、聖徳太子の時代の書き言葉はまだ漢文が中心でした。「以 A 為 B」は「A を B だと考える、みなす」という漢文の受験で頻出の表現で、また現代の中国でも使われる、れっきとした中国語なんです。「和を大切なものと考えよう」という聖徳太子の教え、この機会に原文で覚えてしまいましょう!

ちなみに本年 2021 年は聖徳太子の「千四百回忌」に当たり、各地でイベント等が計画されています。